

NEWS LETTER

Vol.14
2024年 3月



北海道の長かった冬も終わり、やっと春めいてきました。
間もなく2023年度も締め切りの時期です。

なないろの最近の様子のほか、
なないろが日頃お世話になっている関係機関について
ご紹介させていただきます。

毎年4月2日は国連の定めた世界自閉症啓発デー

世界自閉症啓発デーは、国際連合（国連）が毎年4月2日に定めた、自閉症への啓発を目的とした記念日です。
また、4月2日から8日までは発達障害啓発週間です。※発達障害啓発週間関係団体とともに、4月2日の世界自閉症啓発デーの制定を機に、4月2日からの一週間（4月2日から8日まで）を、国内における「発達障害啓発週間」とし、発達障害について、広く国民の皆さまに知っていただくことにより、発達障害のある人とその家族への理解と支援の輪が広がるよう、国及び地方公共団体とも連携し、全国各地の発達障害のある人やその家族や支援者の皆様に呼びかけ、各種のイベントが展開されています。

〔世界自閉症啓発デー 札幌イベント2024〕
札幌でも4月2日に世界自閉症啓発デーイベントが開催されます。

日時 2024年4月2日（火） 11:00～17:00
場所 札幌駅前通り地下広場 北大通交差点広場西

後援 北海道 北海道教育委員会
札幌市 札幌市教育委員会



〔利用者年収向上計画プロジェクトより〕
なないろのアート活動から生まれたLINEスタンプを販売しています
内容は右のQRコードを読み込んでご覧ください



アート活動・創作活動からの作品は順次更新予定です
作品はなないろの玄関及び地域交流ホールに常設されています

2024カレンダー（1点500円）、メモ帳も販売しています
ご用命の方はなないろまでご連絡ください

*写真は2023カレンダーになります。メモ帳のデザインは変更ありません。

▶ 札幌市公園清掃業務（2024年度）

なないろ初年度より札幌市から委託されて行う公園清掃の申込を行っていたものの2年連続で落選していましたが、2024年度分は見事当選しました！活動・活躍の場の拡大が一步進みました！様子などは広報等を通じてお知らせいたします。



日頃お世話になっている関係機関のご紹介

なないろでは生活介護・短期入所・相談支援、居住支援、余暇支援の機能をもつセンターとして自閉症者の生活のお手伝いをしています。しかし、なないろだけで動いているわけではなく、多くの関係機関から協力をいただきながら日々運営されています。

今回は日ごろからご協力をいただいている関係機関をご紹介します。
(ページ数の都合で一部機関のご紹介となります。)

実際には紙面からあふれるほど多くの機関と日々連携を取りながら利用者の支援などを行っています。)

NPO法人ひなた (西区)

ひなたは、西区発寒にある事業所です。

毎日の皆さまの生活がより楽しく充実したものになるように、お手伝いしています。

・居宅介護、外出支援サービス・放課後等デイサービス・短期入所・生活介護などのサービスを通じて、利用者の方、そのご家族、スタッフがhappyになれるように日々邁進しています！

～ひなたガイドヘルプの紹介～

職員数 18名 利用者数 58名(38名 行動援護対象者)

私たちは、札幌市西区発寒にある事業所です。利用者の方の生活全般のお手伝いをさせていただいております。その中でひとつでも皆さまの笑顔が増えるように日々楽しみながら仕事をさせてもらっています！

ガイドヘルプの良いところは、1対1の支援なので、ご本人の行きたいところ、食べたいもの、練習したいこと、観光したいところの1つ1つに対して丁寧に関わることが出来、オーダーメイドでご本人たちの要望を叶えたり、新しい体験をしていただけたところですよ！ひたすら公共の乗り物に乗り続ける…、飛行機を見に行きたい、本屋さんに行きたい、海に行きたい、バイクに行きたい等々…そのため、どのサービスよりも一番多くの笑顔に出会えることが出来ていると自負しています☆

ご希望があれば、ひなたでは何泊かでの道外へのお出かけも対応しています。また、道外からの旅行者の方たちにもひなたの行動援護や短期入所をご利用いただいているので、正に一期一会の出会いもあります。

行動援護対象者の方も多いので、ご希望の方・必要な方には、コミュニケーションツールやスケジュールボード等も無料でプレゼントしております。



相談室ぷらうむ (白石区)

相談室ぷらうむでは、丁寧に寄り添うことを基本とし、エンパワメントの視点と感謝の気持ちを大切にして日々の相談支援を行っています。職員は4人体制で、お互いを尊重して協力し合い業務にあたっています。全員相談支援専門員で、その中でも二名の職員が、主任相談支援専門員の資格を持っています。利用者さんの対応は、原則二名体制で行っており、ミーティングでこまめに前日・当日の動きの確認をして、丁寧な支援を意識しています。

相談室ぷらうむは以下のサービスを提供しています。

・指定特定相談 サービス等利用計画案・計画の作成 モニタリング

・地域相談

地域移行支援 施設や病院を出て、自立した地域生活を目指す人を応援します。

地域定着支援 すでに自立した地域生活を送る方が施設や病院に再入院することなく地域で暮らし続けるための支援をします。

・障害児相談支援 個人に適した障害児通所サービスを利用するための相談支援を行います。

・自立生活援助 週1回の訪問により、ヘルパーだけでは足りない支援を補って、利用者さんの地域生活を支えるサービスです。

相談して下さる方々の障害や個性も様々で、ですから困りごとにも人によって変わってきます。難しい相談やまだ経験のないこともたくさんあります。それでもぷらうむにはたくさんの経験を積んできた職員がいて、一緒に考えてくれる仲間や先輩がいてくれることに感謝し、利用者さんと向き合っています。今後ともよろしく願いいたします。



日頃お世話になっている関係機関のご紹介 ②

合同会社恭花 きょうちゃん・さぽーときょうちゃん（清田区）

こんにちは。合同会社恭花の中村です。

弊社の2つの事業、放課後等デイサービス「きょうちゃん」と

障害福祉サービス「さぽーときょうちゃん」の紹介をさせていただきます。

「きょうちゃん」は、平成26年4月に清田区里塚緑ヶ丘にて放課後等デイサービスを開所し、お子様の生活スキル向上を目指し、個別の支援を行ってまいりました。重視してきた点は特性の理解、視覚的支援、構造化された環境、重度の利用児様の受け入れです。スケジュールの中に、洗濯物を干したり、衣類をたたむなどの活動を組み込み、ご自宅でのお手伝いに般化していくよう取り組んできました。

室内での余暇の幅を広げ、また外出時の余暇支援の必要性を考え、平成29年10月に「さぽーときょうちゃん」を開所しました。行動援護従事者の有資格者が現在6名在籍しています。公園での散歩や体育館でのウォーキングやプール、買い物や床屋などに出かけています。チームでアセスメントをとり、支援についてのミーティングを重ね利用者様が安全に余暇を過ごせるよう支援しています。2つの事業が連携して利用者様のQOLの向上に関わっていく事が、「きょうちゃん」の希望です。



有限会社Colors（東区）

皆さまこんにちは！佐藤ゴリでございます！カラオケでよく歌う歌は愛が生まれた日、歌わせる歌は天城越え、好きなビールはスーパードライ、好きな肉はカルビ、好きなスナックはじゃがりこトブラスです！

Colorsは札幌市東区でヘルパー・就労B・住居事業・指定相談を。函館にRootsという名前のヘルパー事業所があります。

法人のウリは

- 「創」自分たちで創りだす
- 「笑」自分も含めた誰かの笑顔のために
- 「己」いいことは自分から

を理念として掲げてますが、「おもしろくやりましょう。よく笑いましょう。あと飲み会大好き。」ってことです。しらふなのに「飲んでもらいますか？」と言われるのが全員最高の誉め言葉です。ウソです。ゴリへの誉め言葉です。

なないろさんの支援の専門性の高さ、職員さんの物腰の柔らかさと感じのよさ、職場作りのための取組、いつも参考にしたいと思っています。

あと僕がどれくらい加藤さんが好きかというと、コラムをお気に入りにしてスマホのホーム画面に置いておくくらい好きです。

ゴリの「コロナ収束したらやるぞリスト」に「たくさん交流する」とありますので、いずれ飲み会やミニバレー大会や宴会やソフトボール大会やお酒を飲む機会とか創れたらいいですね！とりあえず今夜「ときん」19:30集合で！

今後ともよろしく願いいたします！



インフルエンザが流行中

全国的にインフルエンザが流行しています
インフルエンザのからまない為の取り組みについて厚労省は以下の6つを紹介しています

- ①流行前のワクチン接種
- ②外出後の手洗い等
- ③適切な湿度の保持
- ④十分な休養とバランスの取れた食事
- ⑤人込みや繁華街への外出を控える
- ⑥こまめな換気

厚生労働省 令和5年度インフルエンザ
https://www.mhlw.go.jp/stf/eng/kyosei/kyosei/bunsa/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-sanenshou/infuenza/052025.html



適切な湿度は50～60%

- ・今回は感染予防の為の“湿度”に関する取り組みを紹介します
- ・湿度が低いと、乾燥による皮膚トラブルや免疫の低下につながります
- ・また乾燥すると汗が蒸発して、寒さを感じやすくなります



快適生活 おしゃれで快適な生活プロジェクト広報より

新型コロナウイルス感染症が5類になっても、インフルエンザを含めた感染症等が発生してしまうことには変わりはありません。この度、おしゃれで快適な生活プロジェクトではインフルエンザの流行に対する警鐘と日々の生活の中でどのようなことに留意すべきかについて触れられました。これから温かくなっていくと食中毒などの心配もあるので、内部での注意喚起や外部からの情報の確認等は引き続き行っていくことになります。

皆さまも体調管理や環境調整などには十分ご留意くださいませ。